

内容

第1回 5月24日(日) 9:00~12:00 開会式(サンクチュアリセンター)
人工産卵床の見まわり、バス稚魚すくい

第2回 5月31日(日) 9:00~12:00

第3回 6月 7日(日) 9:00~12:00

第4回 6月14日(日) 9:00~12:00

人工産卵床の見まわり、バス稚魚すくい

※沼に入って作業を行いません。ウェーダー(胴長)をお持ちでなくとも財団からお貸ししますのでご参加いただけます。
※活動中の様子を写真で記録させていただきます。
写真を当センターニュースやHPで使用することを御了承のうえ申込み願います。



バス稚魚すくい

人工産卵床

集合場所と活動場所



集合場所(ウェーダー貸出)
サンクチュアリセンターとなり
環境省管理センターの駐車場



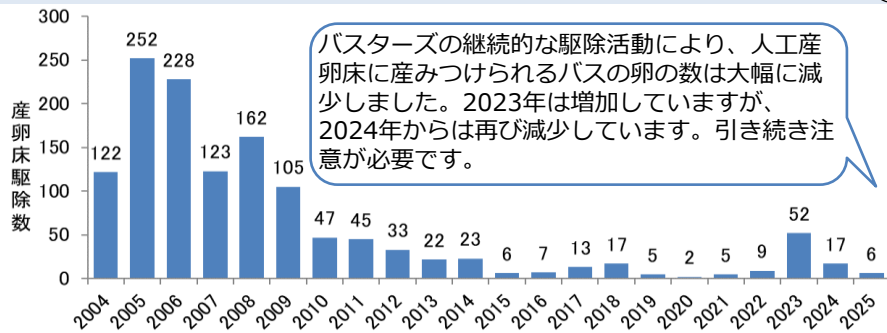
※団体でご参加の方は事前に
下記までご連絡下さい。

※電車でお越しになることも可能です。JR東北本線「新田駅」や東北新幹線「くりこま高原駅」まで送迎しますので右記までご連絡下さい。

【お問い合わせ】
(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
Tel: 0228-33-2216
Fax: 0228-33-2217
E-mail: izunuma@circus.ocn.ne.jp
ホームページ <http://izunuma.org/>

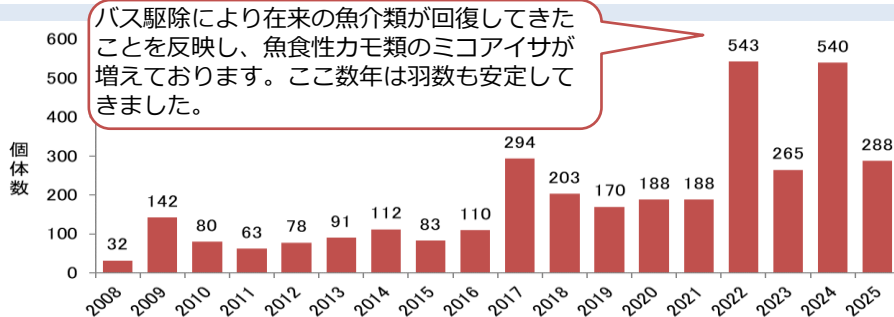


これまでの成果



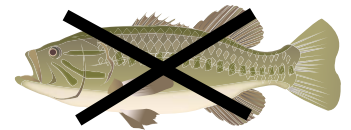
バスターズの継続的な駆除活動により、人工産卵床に産みつけられるバスの卵の数は大幅に減少しました。2023年は増加していますが、2024年からは再び減少しています。引き続き注意が必要です。

人工産卵床によるオオクチバスの産卵床駆除数



バス駆除により在来の魚介類が回復してきたことを反映し、魚食性カモ類のミコアイサが増えています。ここ数年は羽数も安定してきました。

ミコアイサの1月個体数の経年変化



減少



増加

沼の自然再生の
目標種が回復



増加

ミコアイサ